



引用は、自分の考えを展開する根拠にもなりません。間違ったデータを根拠にしたり、人の意見を正確に把握しないで引用したりすると、自分の意見が信頼性のないものになります。引用した内容が、正確で信頼性のあるものであるかは、その原典にあたらないとわかりません。そこで、引用された情報や資料にアクセスできるように、出典を明示する必要があります。引用された資料の出典が書かれていなかったり、不十分だと作品として認められません。

また、引用された資料や情報は、読者にも利用され、さらに研究が進められます。読者も、引用された情報を手に入れるためにも、正確な出典が示される必要があります。



文章などをそのまま引用する場合でも、人の意見を参考にしたたり要約して利用する場合でも、著者の意図を正確に把握して、単に文章の一部を切り取ることにしなようにしましょう。

文章の引用は、一字一句原文を正確に写します。人の意見を参考にしたたり、要約して利用する場合は、それが自分の意見でないことが読み手にわかるように表現を工夫します。

図表の引用で、データの加工を行った場合は、どのような加工を行ったかを注記するといふでしょう。

また、誰かが引用した文章などを、そのまま原典を確認しないで引用する（これを「孫引き」といいます）のは間違いのもつとですから、必ず原典にあたって直接引用してください。

④ 引用するときの注意点

③ なぜ出典を明示しなければならないのか?

特集

調べる学習作品づくりに役立つ

引用のルール

調べた情報を正しく引用するには?

調べる学習の作品づくりで「調べたことをもとに自分の意見を書く」ときの方法があることをご存知ですか。今回はこのいわゆる「引用」の方法について、その考え方やルールを藤田節子先生に教えていただきました。

正しく「引用」することによって、文章に説得力が増し、自分の考えを読み手にわかりやすく伝えられます。本特集の引用ルールを守って作品づくりをしてください。

用語解説

- 引用**：自分の考えを説明するために、他人の文章などを引くこと
- 参考**：自分の考えをまとめたり、行動を決めるための手がかりとすること
- 要約**：文章などの要点を短くまとめること



引用に目覚めました!



① 「調べる学習」で大事な「引用」とは?

「調べる学習」の作品づくりでは、テーマに関連する資料や情報を収集し、それらをもとに自分の考えや意見をまとめ文章で表現します。このときに、他人の文章やアイデア・意見、図表、写真などを利用することがあります。これを「引用」といいます。

調べる学習の作品は、自分の頭の中だけで出coming up with ideas is not enough, you need to cite sources. これまでに発表された、たくさんの方の意見を理解し組み合わせ、その上に自分の考えや意見を作り上げます。自分の考えもまた別の人が、その他の人の意見と組み合わせ、さらに次の新たな考えを発表する、それがまた別の人の意見に利用される。研究というのは、このように、多くの先人の研究の蓄積の上に、自分の意見を少し付加することを繰り返して進んできたのです。「調べる学習」の作品もそのひとつで、「引用」は研究に欠かせないものです。



② なぜ「人の意見」(調べて分かったこと)と「自分の考え」を区別して書くのか?

「調べる学習」の作品では、ほかの人のマネをするのではなく、自分の考えを自分の表現で述べていること（創作性）が重要となります。ですから、調べて分かった「人の意見」と「自分の考え」を区別して書かないと、どれがどの方の意見なのかわからなくなり、自分の創作性が読み手に伝わらなくなってしまいます。

一方、「人の意見」も、その人が情報を集め、独自にまとめた結果なのです。その人に対して私たちは敬意を持って利用しなければなりません。「人の意見」と「自分の考え」を区別しないで書く、同じ研究をする人間として失礼でもあるし、盗作とみなされる場合もあります。

知っておきたい著作権法

著作権とは、著作物を創作した著作者に与えられる独占的な権利で、わが国では著作権法という法律で保護されています。

著作権には、精神的な権利である人格権（著作者人格権という）と、経済的な権利である財産権（普通はこれを著作権という）があります。

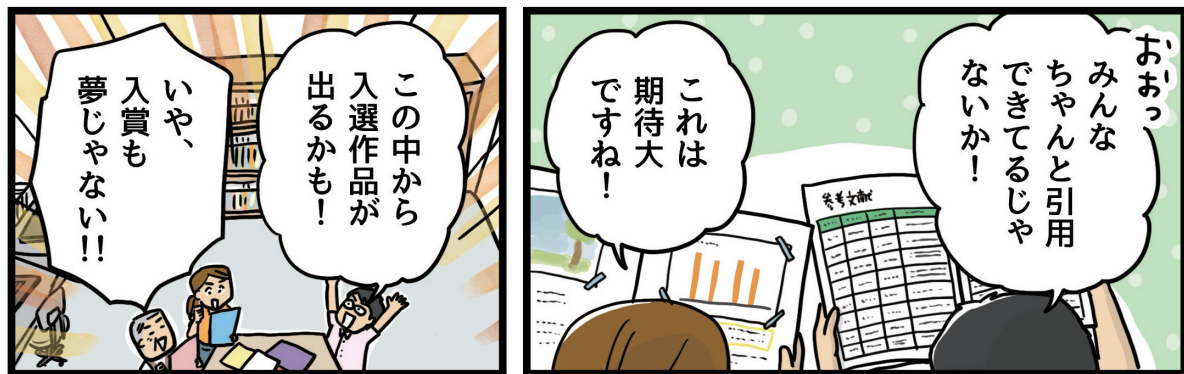
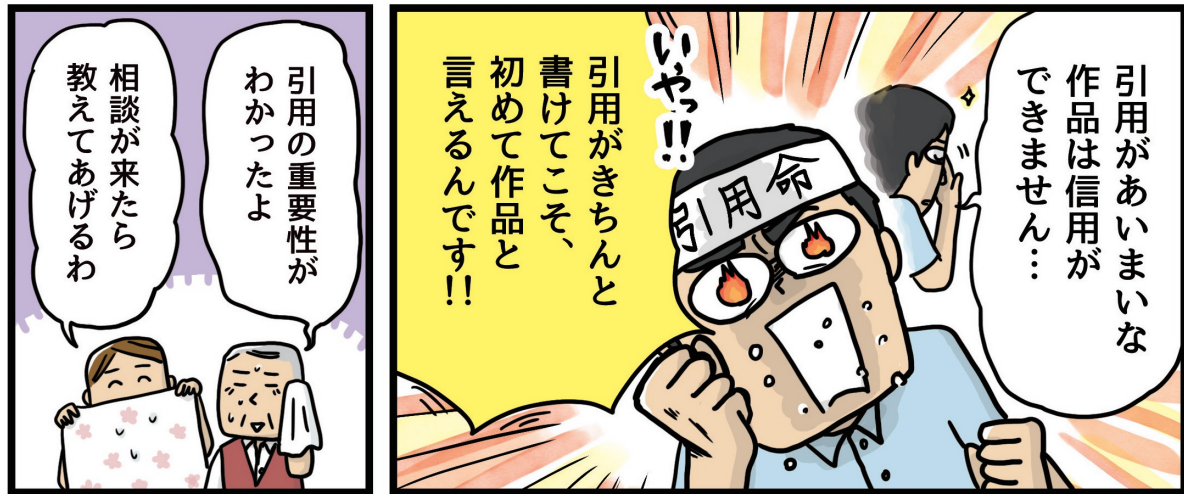
著作者人格権は、著作者以外の人が、文章や表現を勝手に変えたり（同一性保持権）、無断で著作者の氏名を削除・変更したり（氏名表示権）、勝手に著作物を公開したり（公表権）してはいけません。という権利で、他者に譲ることはできません。財産権は、著作物を複製する権利（複製権）、著作物をネットワークで公に送信したりする権利（公衆送信権）など11の権利に分かれていて、その一部を譲渡できます。

著作物を利用するには、原則として著作者の許諾が必要となります。しかし、引用や私的に資料をコピーする場合などで、その都度許諾をとってはいは、利用に支障をきたします。そこで、著作権法では、一定の条件の下で著作物を自由に利用できるよう規定しています（著作権の制限という）。

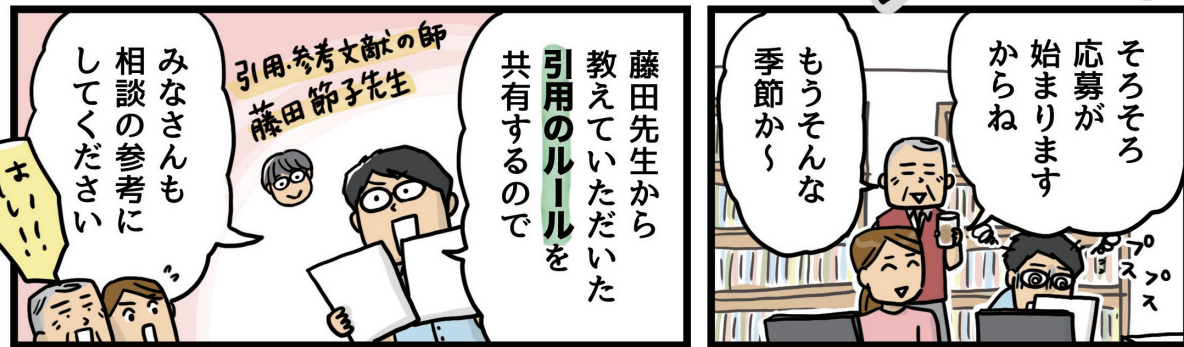
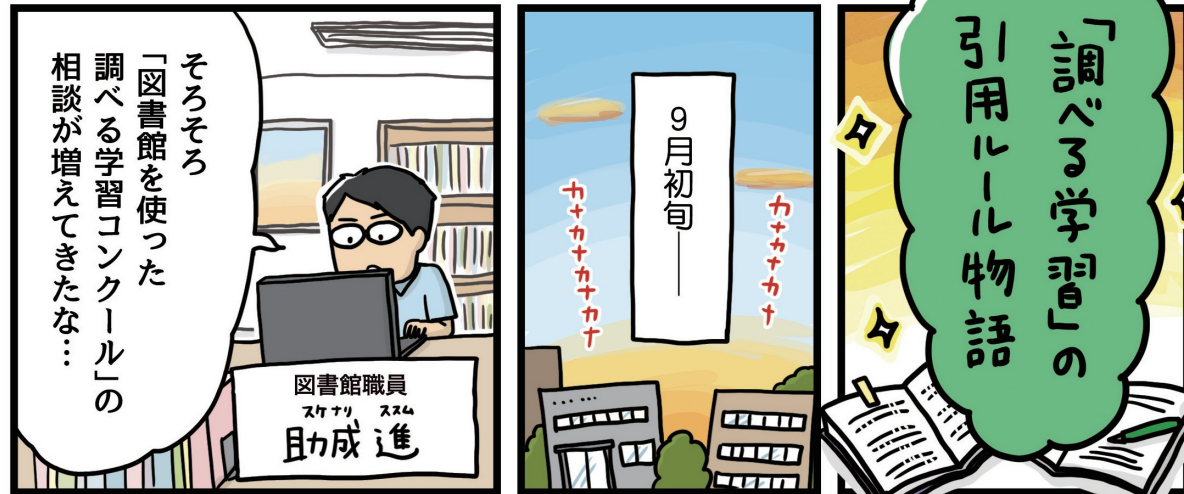
なお、この著作権の制限は、著作者人格権には適用されませんので、自由利用したとしても人格権は守らなければなりません。

藤田節子

元川村学園女子大学教育学部教授。著書に『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』(日外アソシエーツ)他多数。



- ### 引用のルール
- 1 引用する著作物は、公表されたものであること**
通常私たちが利用する著作物は、公表されたものであることがほとんどであると思います。
 - 2 引用する必然性があること(必然性)**
自分の意見を主張するために、必要があつて引用することが求められています。
 - 3 自分の著作物が主で、引用する著作物が従であること(正当な範囲内)**
自分の意見を書くのですから、自分の著作物が主で、引用する著作物が従であるという関係でなければなりません。
 - 4 読者が、自分の著作物と他人の著作物の区別ができるように書く(区分明確性)**
他人の文章を括弧で括ったり、自分のアイデアでないことを文章で表現して、公正な利用であることを示します。
 - 5 出典を明示しなければならぬ(出典の明示)**
法第48条第2項には、引用した著作物の著作権者名を書くことのみ規定されていますが、それだけでは著作物を入力することはできませんので、次ページのように入賞タイトルや出版社などを書くことが慣習になっています。



まず典型的な引用のNG例はこんな感じ

OK!

人気ラーメンの変化 (単位:人)

年	醤油	味噌	豚骨	塩
2020年	100	50	50	0
2021年	100	50	50	0
2022年	100	50	50	0

山田一男著、日本人とラーメン、△△出版 2022年、P50

NG例

人気ラーメンの変化 (単位:人)

年	醤油	味噌	豚骨	塩
2020年	100	50	50	0
2021年	100	50	50	0
2022年	100	50	50	0

出典がない

この2つの例は本当はこうやって書くべきなんです!

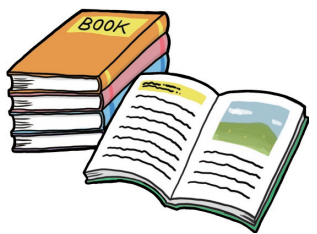
OK!

- 山田によると「〇〇魚はエサを追って世界中の海を回っている」¹⁾とある。しかし、ぼくが調べた結果では、〇〇魚は日本の近海を回っているのではないかと考える。なぜなら...
- 1) 山田一男著、日本の海業、水産書店、2002、P15

NG例

- 〇〇魚はエサを追って世界中の海を回っているとあるが、ぼくは日本の近海だけを回っているのではないかと考える。なぜなら...
- 「」での区別がない

参考・引用文献の書き方



くらしをくらべる 戦前・戦中・戦後 第1巻 衣食住のうつりかわり NDC210

発行日 2021年1月31日 第1刷発行

著 古館明廣

発行者 小松崎敬子

発行所 株式会社岩崎書店
〒112-0005東京都文京区水道1-9-2
電話:03-3813-5526 (編集)03-3812-9131 (営業)

本の最後のページにある「奥付」に書かれている情報を見て、

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

をリストに書きます。

本の場合

参考・引用文献リスト (本を参考にした場合)

No.	著者名	書名	出版社名	出版年	ページ	図書記号 （せいきゅう記号）
/	古館明廣	くらしをくらべる 戦前・戦中・戦後 第1巻 衣食住のうつりかわり	岩崎書店	2021	P20	005E 0Δ 前巻 210 7



新聞のタイトルまわりの情報を
見ると、

- 記事を書いた人の名前
- 新聞記事名
- 新聞紙名
- 発行年月日
- 朝夕刊
- ページ

をリストに書きます。

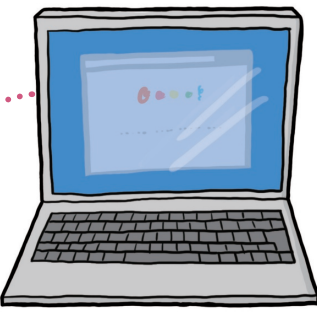
新聞の場合

新聞のタイトルまわりの情報を
見ると、

- 記事を書いた人の名前
- 新聞記事名
- 新聞紙名
- 発行年月日
- 朝夕刊
- ページ

をリストに書きます。

No.	記事を書いた人の 名前	新聞記事名	新聞紙名	発行年月日	朝夕刊	ページ
/		天声人語	朝日新聞	20△△年 3月1日	朝刊	P1



トップページや
該当ページの情報を
見ると、

- Webのページを
制作した人・団体名
- Webページ名
- Webサイト名
- 更新年月日
- URL
- アクセス年月日

をリストに書きます。

Webの場合

トップページや
該当ページの情報を
見ると、

- Webのページを
制作した人・団体名
- Webページ名
- Webサイト名
- 更新年月日
- URL
- アクセス年月日

をリストに書きます。

No.	Webページを 制作した人・団体名	Webページ名	Webサイト名	更新 年月日	URL	アクセス 年月日
/	図書館振興財団	図書館と連携した 調べ学習コンクール	図書館 振興財団	20△△年 3月1日	https://concourse. toshokan.or.jp	20△△年 4月/日

引用の書き方

「この意見（データ）は『○○○○』の○○ページに書いてある」と出典がわかるように書きます。

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

を書きます。

本や資料に書かれたものは「てくると」

山田によると「○○魚はエサを追って世界中の海を回っている」とある。しかし、ぼくが調べた結果では、○○魚は日本の近海を回っているのではないかと考える。なぜなら…。

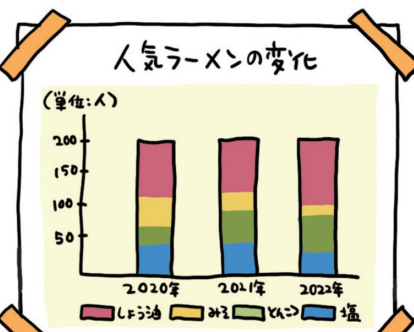
1) 山田太郎著、日本の海業、水産書店、2002、P15

文章を引用する

「この意見（データ）は『○○○○』の○○ページに書いてある」と出典がわかるように書きます。

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

を書きます。



本やWebにのっているデータや資料を引用したいときは、その数値だけを書き写す方法と、グラフを自分で書き写してのせる方法があります。

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

を書きます。

図表や統計データの引用をする

本やWebにのっているデータや資料を引用したいときは、その数値だけを書き写す方法と、グラフを自分で書き写してのせる方法があります。

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

を書きます。

山田一男著、日本人とラーメン、△△出版、2022年、P50



本にのっている写真や地図をコピーして作品にはりつけたら、

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

を書きます。

図鑑の写真や地図の引用をする

本にのっている写真や地図をコピーして作品にはりつけたら、

- 著者名
- 書名
- 出版社
- 出版年
- ページ

を書きます。

背脂太郎著、ラーメンの歴史、○○出版、2022年、P25